

科目名		担当教員	学年	時数	時期	種別
実習	電装品 点検分解組立調整検査 1	矢野 史門	1	31 (全129)	前期	必修
授業の概要	バッテリーと点火装置の構造、作動を実物の点検・分解を通して学ぶ。理解し、実践に繋げる。					
授業の進め方	各内容説明後、実作業を行う。					
到達目標	バッテリーと点火装置の分解、組み立てで構造を理解し、各点検要領を理解して実践に繋げる。					
講義内容						
時間	項目	目標				
1～7	バッテリー	自動車用電源とバッテリー概要について理解し、整備できるようになる。バッテリーの原理を理解し、比重の測定ができるようになる。				
8～14	イグニッションコイル	イグニッションコイルの構造や役割を理解し、整備できるようになる。				
15～23	ディストリビュータ	ディストリビュータの分解・組み立てを通して、構造や役割を理解し、整備できるようになる。				
24～28	スパークプラグ	スパークプラグについて理解し、整備できるようになる。				
29～31	前期中間試験	定期試験				
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)					
教科書・配布物	教科書：全国自動車大学校・整備専門学校協会発行 電装品構造 その他：各種資料					
アドバイス	学科で学んだ知識を実際の部品等で確認することができます。まずは学科でしっかりと知識を習得して臨んでください。					

科目名		担当教員	学年	時数	時期	種別
実習	電装品 点検分解組立調整検査 2	矢野 史門	1	27.5 (全129)	後期	必修
授業の概要	始動装置の構造、作動を実物の点検・分解を通して学ぶ。理解し、実践に繋げる。					
授業の進め方	各内容説明後、実作業を行う。					
到達目標	始動装置の分解、組み立てで構造を理解し、各点検要領を理解して実践に繋げる。					
講義内容						
時間	項目	目標				
1～9	スタータ	始動装置の概要について学び、理解する				
10～17		スタータの分解、組み立てを通して構造や作動を理解し、スタータの点検ができるようになる。				
18～ 23.5		減速機構付きスタータの分解、組み立てを通して構造や作動を理解し、整備できるようになる。				
24.5～ 27.5	後期中間試験	定期試験				
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)					
教科書・配布物	教科書：全国自動車大学校・整備専門学校協会発行 電装品構造 その他：各種資料					
アドバイス	学科で学んだ知識を実際の部品等で確認することができます。まずは学科でしっかりと知識を習得して臨んでください。					

科目名		担当教員	学年	時数	時期	種別
実習	電装品 点検分解組立調整検査 3	矢野 史門	1	27.5 (全129)	後期	必修
授業の概要	充電装置の構造、作動を実物の点検・分解を通して学ぶ。理解し、実践に繋げる。					
授業の進め方	各内容説明後、実作業を行う。					
到達目標	充電装置の分解、組み立てで構造を理解し、各点検要領を理解して実践に繋げる。					
講義内容						
時間	項目	目標				
1～7	充電装置	充電装置の概要について学ぶ。				
8～13		充電装置について車上天にて点検を行う手法や技術を学ぶ。				
14～19		ダイオードの特性を理解し、点検方法を学ぶ。				
20～ 23.5		オルタネータの分解、組み立てを通してオルタネータの構造を理解し、部品の単体点検ができるようになる。				
24.5～ 27.5	後期中間試験	定期試験				
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)					
教科書・配布物	教科書：全国自動車大学校・整備専門学校協会発行 電装品構造 その他：各種資料					
アドバイス	学科で学んだ知識を実際の部品等で確認することができます。まずは学科でしっかりと知識を習得して臨んでください。					

科目名		担当教員	学年	時数	時期	種別
実習	電装品 点検分解組立調整検査 4	矢野 史門	1	17 (全129)	後期	必修
授業の概要	灯火装置の構造、作動を実物の点検・分解を通して学ぶ。理解し、実践に繋げる。					
授業の進め方	各内容説明後、実作業を行う。					
到達目標	灯火装置の模型を使い配線することで、電気の流れについて理解し整備できるようになる。					
講義内容						
時間	項目	目標				
1	灯火装置	灯火装置の概要について学ぶ。				
2						
3～7		灯火装置に関する法令、電線、配線方式、電球について理解する。				
8～14		模型での前照灯配線作業、作動確認を行う中で、電気の流れを理解し整備できるようになる。				
15～17	後期期末試験	定期試験				
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)					
教科書・配布物	教科書：全国自動車大学校・整備専門学校協会発行 電装品構造 その他：各種資料					
アドバイス	学科で学んだ知識を実際の部品等で確認することができます。まずは学科でしっかりと知識を習得して臨んでください。					

科目名		担当教員	学年	時数	時期	種別
実習	電装品 点検分解組立調整検査 5	矢野 史門	1	26 (全129)	後期	必修
授業の概要	灯火回路や灯火装置の作動を実物の点検・分解を通して学ぶ。理解し、実践に繋げる。					
授業の進め方						
到達目標	実車にてテスターを用いて電気の流れを確認し理解する。 実車での電気関係の作業要領についても習得する。					
講義内容						
時間	項目	目標				
1～8	灯火回路	各灯火回路、フラッシュリレーの作動、ホーンの原理を理解する。				
9～16		実車にてフラッシュリレー、ホーンの作動をテスターを用いて確認をする。 電気の流れを理解し、故障時の整備ができるようになる。				
17～22		電気系統の不具合修理における考え方や手法について習得する。				
23～26	実技試験					
成績評価方法	成績評価は、ありません。					
教科書・配布物	教科書：全国自動車大学校・整備専門学校協会発行 電装品構造 その他：各種資料					
アドバイス	学科で学んだ知識を実際の部品等で確認することができます。まずは学科でしっかりと知識を習得して臨んでください。					